

府政に新しい息吹を！

しばたに匡哉
オフィシャルサイト

ブログ毎日更新しています

携帯電話でも
ご覧いただけます。

大阪府議会議員

無所属

まさや

しばたに匡哉

府政報告

皆さんのご意見をお寄せください しばたに事務所 〒581-0087 八尾市明美町2-8-27 TEL 072-922-3777 FAX 072-922-0115 MAIL shibatani@mbe.nifty.com

八尾SCU

大規模災害時に傷病者を治療し被災地外へ搬送するための施設

のソフト面の未整備が明らかに

大阪府議会議員
しばたに匡哉大阪府議会 健康福祉常任委員会委員
税理士 社会福祉士

八尾SCUのソフト面の未整備が明らかに

大阪府は、八尾空港に隣接する大阪府中部広域防災拠点内に日本初の常設SCUを平成23年度に整備しました。同施設は、東日本大震災の被災地である福島県の県議会でも取り上げられるなど、全国から注目されている施設です。

しばたに府議は、八尾SCUでこれまで行われた広域訓練を通じ、明らかに

この説明を受け、しばたに府議は、災害発生時にSCUに参集する際の関係機関

この説明を受け、しばたに府議は、災害発生時にSCUに参集する際の関係機関

平成26年9月定例会府議会(9月25日、12月15日)において、10月14日、健康福祉常任委員会が開会され、しばたに府議が設置から3年が経過した八尾SCUの整備状況等について質問しました。

しばたに匡哉 府議

の提言により今年度中にSCU運営協議会設置へ



健康福祉常任委員会でSCU運営協議会の設置を提言するしばたに府議

へ、の要請手順の未整備は初動体制時に致命的であり、また災害時の迅速、的確な判断に必要な情報共有のルールの未整備も、また致命的である。これらの課題に対し早速に対応すべき」と強く訴えました。

この質疑の締めくくりに、健康医療部長より「しばたに府議ご指摘の通り、課題があるのは事実。このため、新たにSCU協議会の設置や、マニュアル策定を進め、全国の模範となる広域医療体制を構築していく」と決意表明がなされています。

「災害時での対応には、関係機関の連携強化が必要であり、各機関のトップによる運営会議を早急に立ち上げ「顔の見える関係」づくりに取り組みべきである。」と提言しました。

全国模範となる広域医療体制を

SCU運営で協議会設置へ

府が今年度中

運営マニュアルにも不備があり、今年度中に策定する。

八尾空港の隣接地に全国で初めて設置された常設型臨時医療施設(SCU)について、府は14日、関係機関との連携強化を目指す、運営協議会を設置する方針を明らかにした。

屏の開閉や関係職員の手配が、今年度中に府議会委員会で、柴谷匡哉議員の質問に対し、上家子健康医療部長は「ソフト面で課題があるのは事実だ。全国の模範となる広域医療体制を構築していく」と述べた。

【熊谷豪】

毎日新聞 2014年(平成26年)10月15日(水)

http://www.shibatani.com

しばたに府議の調査が発端となり守られた“保育の質”

府が、保育の後退となる認定こども園の条例を撤回

平成26年
9月定例会府議会

認定こども園について、大阪府では保育者の目が届きやすく保育の質も高められるとして3歳児学級の定員を25人とする独自の基準を条例で定めて来ましたが、し、府は9月定例会において、定員の上限を従来どおりとする当初の条例案を取り下げ、国基準の35人に引き下げる条例案を議会に提出しました。

しばたに府議の答弁調整で

意見公募のやり直しが明らかに

この条例案に対し、しばたに府議は、9月定例会府議会の代表質問の質問作成及び答弁調整を行い、担当部局への調査のなかで、府はいったん府独自の25人とし公表した認可基準を取下げ、国基準の35人以下に引き下げた修正をし、パブリックコメント(意見公募)をやり直した事が判明。府議会での関連条例の議決がずれ込み、開始直前ま

で新制度が定まらない事になりかねない事態である事を明らかにしました。

※この事は、毎日新聞に掲載されています。

縦割り行政解消のほずが
部局間の連携不足が露呈

しばたに府議が担当した代表質問では、教育長に対し「今回の条例については(幼保連携が重要であり)福祉部と府民文化庁教育委員会の共管事項であるが、部局間連携が不十分であり、今議会の当初提案が取り下げられた時点で、既につまづいてい

意見公募やり直し

府部局間連携不足で修正

毎日新聞
2014年10月3日(金)

認定こども園の新制度が来年度4月に始まるのを前に、府がいっ

たん公表した認可基準を修正し、意見公募手続き「パブリックコメント」をやり直したことが分かった。新制度は、幼稚園と保育所の「縦割り行政」を解消する目的だったのに、府の部局間で連携が不足していたが原因だ。府議会での関連条例の議決は10月から12月以降にずれ込み、開始直前まで新制度が定まらないことになりそう。

【熊谷豪】

文部科学省所管の幼稚園と、厚生労働省所管の保育所の機能統合を目的として、認定こども園は2006年にスタート。府でも福祉部や府教委など3部局に権限がまたがっている。集まった。ところが9月初めごろ、規制緩和で待機児童解消が図れるとして、修正を決定。再度パブリックコメントを行った。

府教委小中学校課は「府民にとって最善の案となるよう、ぎりぎりまで調整を続けるため」としている。

意見公募のやり直しを判断した事を報じる毎日新聞(10月3日)

急ぎ再調整したところ、規制緩和で待機児童解消が図れるとして、修正を決定。再度パブリックコメントを行った。

府教委小中学校課は「府民にとって最善の案となるよう、ぎりぎりまで調整を続けるため」としている。

意見公募のやり直しを判断した事を報じる毎日新聞(10月3日)

活かされたしばたに府議の徹底した現場主義

この問題については、健康福祉常任委員会、教育常任委員会での審議等の結果、府は三十五人に引き下げる条例案の取り下げを行う事を表明。

しばたに府議が担当した代表質問での現場主義の視点からの調査が発端となり、府の「保育の質」が守られる事となりました。



保育行政の後退
教育の質の低下に繋がる
条例改正には反対

また、認可基準を国基準の35人以下に引き下げる事について、保育現場や意見公募では「教育の質が低下する」など批判的な意見が多く寄せられました。

この様な状況を踏まえ、代表質問では、しばたに府議の基本姿勢でもある「徹底した府民目線重視、現場主義」の観点から「3歳児の学級編制基準を25人以下とする府独自の基準を、あえて国基準の35人以下へと引き下げる必要性はない」との立場をとっています。

しばたに匡哉府議のプロフィール

名前 前 柴谷 匡哉 (しばたに まさや)

誕生日 昭和43年 4月30日 (46歳)

家族 妻・長男、次男

尊敬する人 父・柴谷光謙 (前八尾市長)

趣味 ウェイトトレーニング(ベンチプレスは現在140kg)
野球、ソフトボール、自転車(ロードバイク)、マラソン(2年連続で大阪マラソン完走)

特技 高校時代は上方落語研究部の部長で毎日放送「素人名人会」にも出演

座右の銘 不撓不屈

学歴 八尾市立 安中小学校 卒業
八尾市立 成法中学校 卒業
大阪府立 布施高等学校 卒業
近畿大学 法学部 法律学科 卒業
神戸大学 大学院 経済学研究科 修了

職歴 社会福祉法人 明寿会
税理士法人 アクトパートナーズ(パートナー税理士)

資格 税理士・行政書士
社会福祉士・介護福祉士
介護支援専門員



http://www.shibatani.com